

おおぐち Oguchi

議会だより

12月定例会 No.180
平成22年2月1日

発行：愛知県大口町議会

新春特別企画 直撃インタビュー

新町長に聞く

2

企業誘致と農地保全は矛盾（一般質問）

8

マニフェストは実現可能か（一般質問）

9

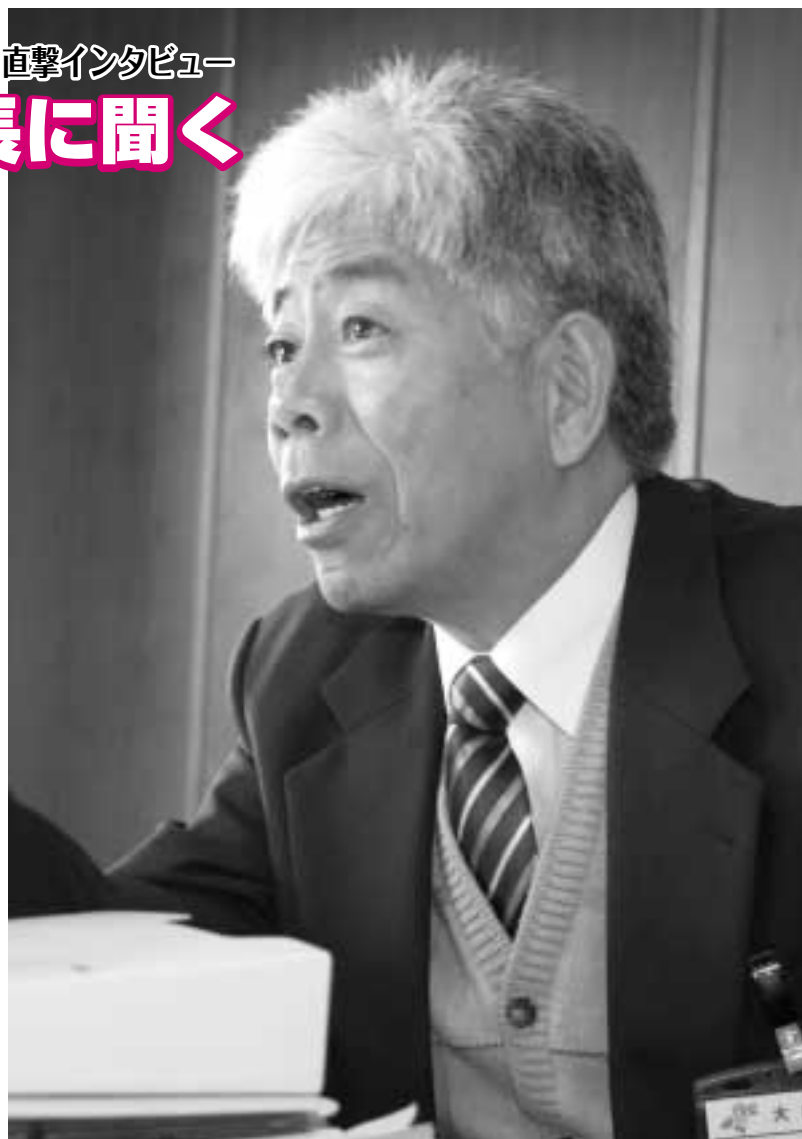
議会だより アンケート結果

15



女の子たちの熱演？とは対照的に、ちょっぴり恥ずかしそうな男の子たち。今日ばかりは女の子に主役の座を譲ってあげよう。
会場から「かわいい～」の声に、ハニカンド笑顔が超かわいい～。

新春特別企画 直撃インタビュー
新町長に聞く



森進（もり・すすむ） 昭和26年生まれ。滝高等学校普通科卒業。昭和45年に町職員。平成15年総務部長、21年6月に副町長。10月に町長選出馬。5500票余を獲得し、初当選。同年11月から町長。仕事に厳しいが孫には弱い。唯一の趣味は庭の草むしり。

**今までやってきたことを、持続できる
ようにしていく。それが自分の仕事。**

町長に就任して迎えた初の議会。その中で町長の所信表明がありました。議会広報常任委員会では、町政に対する新町長の方針を聞くためインタビューを企画しました。穏やかな対談の中にも、町長の熱いメッセージが伝わりました。

——町長に就任されて1か月。ご自身の中で何か変わったことは。

森 人生で経験したことがなかったことが、わずか五、六か月の間に凝縮して過ぎていった。選挙期間中は、町全体のかじ取りをしていく立場から、夢やビジョンを語れと支援者に言われたが、自分の中では総合計画がビジョンであり、それを中心に据えているので、正直困った。

「自分自身を脱する」。今は、これまでの森進ではなく、選挙結果が求めている森進に変わらなくてはならないと思っている。

——住民の関心は、町長に変わって町政はどう変わるかだ。

森 人が変わると変わらなければいけないのだろう。今まで準備してきたことを、きちんと持続できるようにしていく、このことが自分の仕事だと思っている。

町が向かう方向は一緒だが、行政にかかわってきた40年の経験から、手法や手段は必ずしも同じではない。

——近年の選挙では、マニフェスト（選挙公約）が重要視されている。

町長はマニフェストをどう考えているか。

森 自分が掲げたマニフェストだが、行政として本当に取り組めるのか、取り組みのなラどうという問題があるかを含めて、職員に検証してもらいたいし、それに対して意見も聞きたい。

その上で、仮に実現できなかったとしても、それはやむを得ないと思う

ている。

いくらマニフェストに掲げても、行政としての検証は必要だし、仮に制度的にOKだとしても、

議会の議決が必要。議会が認めてくれなければそれで終わってしまう。

——昔は公約と言っていたが、今は「契約」という意味で捉えられている。しかも、一つ一つが具体的である。

森 そうでないで選挙がクリアできなくなっている。選挙の種類によっ

て、マニフェストの掲げ方もいろんなパターンがあってもいいのではないと思う。

——町長のマニフェストによれば、毎年マニフェストに掲げた政策の進捗状況を住民に公開すること。どういう方法を考えているか。

森 広報紙、防災行政無線、ホームページ等で町の情報発信をしているが、喫茶店などの話を耳にすると、「なぜそんな話になっているのか」

と驚くことがある。情報の発信元も分からず、部分的な情報が独り歩きしている気がした。

まちづくり条例で、地域懇談会の開催を定めた。こうした機会を活用して、住民の方と気軽に話し合いをしたい。そうすることで誤解は解消されると思っています。

——マニフェストに掲載したものの以外で、町の課題を挙げるとすると。

森 やはり、ごみの問題。2市2町の新ごみ処理施設を、どこで、どのような仕組みでやるのか、限られた時間の中で結論を出さねばならない。

生ごみ処理施設も、町内に1か所か、地区ごとに1か所かで議論が止まっている。河北地区で行っている生ごみ処理も、新ごみ処理施設と併せて、将来どうしていくのかも検討しなければならぬ。

可燃ごみの処理費を減らそうとすればするほど、リサイクル費用にお金がかかるという矛盾もある。



インタビューの岡委員長と宮田副委員長

しかし、可燃ごみの搬入量を減らしていくことは、永続的に取り組まねばならないと思っている。

——大口町は町内企業への通勤者が多いので、昼間人口が多い。町内企業の勤務者への子育て支援として、保育所の広域入所に対応する考えは。

森 ネットになるのは、在住する市町と勤務先の市町が、費用面で合意できるかどうかの点。

保育料は市町村単位で決められる。保育に重点を置いた市町と、そうでない市町とでは、当然保育料に差がある。他の市町に高い負担を強いられ

た時、町内の保育園に通う子どもとバランスが保てるか疑問。現制度では実現性が低いと言わざるを得ない。

——最後に、議会に対して何か言いたいことは。

森 職員が議員さんと、ざくばらんに話し合える機会を作ってほしいので、ぜひ協力してほしい。

副町長を選任

議会は全員賛成

11月の臨時会は27日に、12月定例会は2日から16日までの15日間の会期で開かれました。

臨時会では人事院勧告に基づく給与改正の条例など9議案が提出され、全会一致で可決。

12月定例会では、町提出議案として副町長の選任のほか条例改正や補正予算など12議案、議員からは意見書を提出する議案が出されました。採決の結果、全議案全会一致で可決しましたが、請願については3件とも不採択となりました。

一般質問では5人が町政全般にわたり質問をしました。



大森滋（おおもり・しげる）
昭和52年に町職員。平成13年環境経済課長、19年政策調整室参事を経て、21年4月から地域協働部長。

12月定例会初日、大森滋・地域協働部長（56）を副町長に選任する議案が提出され、同日、議会は全員の賛成で副町長の選任に同意しました。

大森氏は12月9日に副町長に就任。任期は4年間。この副町長の就任に伴い、1月1日付で町職員の人事異動も行われました。

この議案は、酒井前町長の辞職に伴い、森副町長（当時）が町長選に立候補したため、不在となっていた副町長を選任するものでした。

4月1日から

役場は
5時15分まで

人事院勧告に基づき、

国家公務員に準じた勤務時間に改正する条例を可決しました。具体的には、1週間の勤務時間を、40時間（1日8時間）から38時間45分（同7時間45分）に変更する改正です。この改正により役場の開庁時間は、午前8時30分から午後5時15分になります。

森町長も給料を30%減

マニフェストで

町長の給料91万9000円（月額）を、30%減額の64万3300円に改める条例を制定しました。この条例は町長のマニフェスト（選挙公約）に基づくもので、前町長も

マニフェストにより、同額の引き下げを行っていました。この条例の有効期間は4年間です。

議員も期末手当を減額

人事院勧告で

議員の期末手当を減額する議案を、全会一致で可決しました。

15万円、議員が11万円減額された計算になります。この改正は人事院勧告に基づくもので、町長などの特別職や、一般の職員にも同規模の引き下げ幅が適用されています。

この改正で、12月の期末手当は議長6万円、議員4万4千円（1人当たり）ほどのマイナス（前年比）になりました。6月は特例措置により支給額の一部凍結があったので、年間では議長が

南小学校建設

実施設計を予算化 6051万円

南小の校舎を建て替えるため、実施設計を委託します。

これまででは、民間の資金とノウハウを活用するPFI方式も検討していましたが、しかし、自己資金や補助金などの資金計画が立ったので、町が主体となる従来の方式で建設することになりました。

この実施設計をもとに、平成24年3月の校舎の完成を目指します。

意見書提出

愛知県司法書士会ほか2団体から出された「改正貸金業法の早期完全実施を求める陳情」は、陳情の趣旨を採択し、全会一致で国へ意見書を送付

改正貸金業法の早期完全施行を求める意見書（要旨）

深刻な多重債務問題を解決するため、2006年に改正貸金業法が成立した。

改正貸金業法成立後、官民が連携して多重債務対策に取り組んできた結果、多重債務者が大幅に減少し、確実に成果を上げつつある。

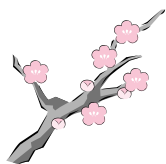
改正貸金業法の完全施行の先延ばし、貸金業者に対する金利規制の緩和は、再び自殺者や自己破産者、多重債務者の急増を招きかねない。地方消費者行政の充実および多重債務問題が喫緊の課題であることも踏まえ、国に対し下記の施策を求める。

記

- 1 改正貸金業法の早期完全施行
- 2 多重債務相談の体制整備のための予算確保、相談窓口の拡充
- 3 セーフティネット貸付の充実
- 4 ヤミ金融の摘発

—方式の課題を検証して改善するとともに、保護者へ情報提供をするよう教育委員会に要望しました。

また、大口中学校の「教科センター方式」の撤廃の陳情には、教科センタ



年頭のごあいさつ

議長 齊木 一三

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、日頃から町政に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

我が国の経済状況は依然として厳しい状況にあります。大口町もその状況に変わりありません。しかし、そのような中でも、子どもたちの身の安全を確保していくためには、早急に校舎等の建設を進めなければなりません。限られた財源の中で、優先順位を明確にし、住民の皆様にご理解が得られる施策を展開していくことが求められています。

副町長の選任で町の執行体制も盤石となりました。議会も町とともに、この経済不況の局面を一緒になって打開していくつもりであります。

最後に当たり、皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新春のごあいさつといたします。

祝

在職30年表彰

田中 一成 議員

全国町村議会議長会の創立60周年を記念して、特別表彰が行われました。大口町議会では田中議員が30年以上の議員在職者として表彰されました。

12月定例会初日、表彰の伝達が行われ、齊木議長から長年の功績に感謝の言葉が添えられました。



質疑あれこれ

12月議会に上程された議案の中から主な質疑、賛成・反対の討論が繰り広げられたものを要約してお知らせします。

役場勤務時間の短縮

問 人事院勧告で7時間45分の勤務時間にするなら、始まる時間を15分遅らせて8時45分にしたり、職員が時差出勤したりするなど、工夫はいろいろある。その中で、閉庁時刻を早めることにしたのはなぜか。

答 開庁時刻を待っている人もいれば、閉庁間際に来る人もいる。数を把握しているわけではないので、どちらの方が得策

かは分からない。しかし、どの自治体も就業時間の繰り上げをしているので、統一した方が理解を得られやすいと思う。

時差出勤は、少人数で窓口をこなす課に支障が出るので、考えていない。**問** 住民票や納税証明などの発行を一つの窓口でやれば、支障は起きないのでは。

答 証明書の発行だけにとどまらず、質問等が発生する場合もある。そういう視点からすると、総合窓口がいいかは疑問。

スペースの問題もあり、今の体制のままでいい。

補助金なくても実施を

問 農道・農業用排水の工事を1300万円減額する。これは県の補助金が減ることに伴うもの。たとえ補助金が付かなくても、必要な工事なら実施すべきではないか。

答 県の補助金がかットされ、本年度の工事を見送った。緊急を要する工事ではない。翌年以降に、補助事業として実施していきたい。



せんてい 剪定枝 増えずぎでは

問 剪定枝再生委託料は、今回の補正を合わせると1千万円を超える。町外からの持ち込み、業者の不正利用があるからではないのか。

答 搬入者には住所・氏名・電話番号の記入を義務化しており、不正はないと思っています。また、出入り口の錠を変えて、時間外の投入を防止している。

不正防止のため免許証の確認など厳密な措置を

とることもできるが、もう少しばく様子を見てから判断したい。**問** 1トン当たりの処理費はいくらか。

答 20年度決算で、処理費・運搬費等を含めて、約2万円かかっている。処理費を減らすため、剪定枝をチップ化して、公共施設の植栽などに雑草抑制材として利用したい。



日曜日は途切れることなく剪定枝や草が持ち込まれる集積場



南小学校3年2組

給食費の半減はいつから

問 町長のマニフェストによれば、2009年から給食費を半額にすると言われていた。今回の補正予算には盛り込まれていない。いつやるのか。

答 給食費の減額は、行政コストの削減、事務事業の見直しなどによって捻出される財源で実施するつもり。具体的にいつからということとは答えられない。

マニフェストに掲げた項目は、毎年状況を公表していく予定。

請願は不採択

12月定例会に3件の請願書が提出されましたが、いずれも、賛成2・反対12で不採択となりました。請願は次の通り。

所得税法第56条の廃止

家族従事者への給料が、従事者の所得として税法上算定できないため、不利益が生じている。その条項を廃止するよう意見書を提出してほしい。

賛成

田中一成

青色申告・白色申告の選択は納税者の自由。白色だから所得を認めないというのはおかしい。

全国では100以上の議会が、廃止を求めて意見書を提出している。

反対

土田進

所得税の青色申告を選択すれば、専従者給与として認められる。不利益は、白色申告がゆえに存在するもの。

現制度でも不利益、不平等を救済する道がある。

ボッシュ・レックスロス名古屋工場（旧内田油圧）の閉鎖

大口町内にある工場の閉鎖をしないように決議してほしい。

賛成

吉田正

工場閉鎖になれば、退職せざるを得ない人も出てくる。100人以上の従業員の生活と、90社以上の下請企業の存亡にかかわること。閉鎖しないよう議会が決議するのは当然だ。

反対

木野春徳

心情は理解できるが、工場閉鎖・統合は、民間企業における経営方針にかかわる問題。議会がそこまで介入するのは、ない。

年金のマイナス物価スライドの中止

物価下落を理由とした年金の引き下げを中止するよう意見書を提出してほしい。

賛成

吉田正

年金には120兆円もの積立金がある。これを活用すれば減額しなくても済む。

マイナス物価スライドを実施すれば、ますます年金生活者の生活を困窮させることになる。

反対

宮田和美

日本経済はデフレ傾向にある。民間給与はもとより、公務員給与、我々議員の手当も削減されている。

年金制度を維持していくために仕方がない。

ここが聞きたい！

一般質問

町政を問う

12月定例会では5人が
一般質問をしました。企業誘致と農地保全
両立するか

町長 将来を見据え、調和のとれたまちに



土田 進

土田 先の町長選挙で掲げられたマニフェストの中から、質問する。

① 新しい分野の産業（航空宇宙産業等）の誘致を進めると言っているが、現在の大口町に企業誘致が必要か。

また、なぜ航空宇宙産業なのか。

② 企業誘致計画と都市計画マスタープランとの連動性は。

③ 企業誘致の一方で、「豊かな大地を守る」とある。両立できるのか。

町長

① 企業誘致のおかげで、今日の豊かな大口町がある。しかし、少子高齢化に伴う人口構造の変化が、将来へ大きな影響を及ぼすことは必至である。

私は企業誘致を、町の持続的な発展を目指す「まちづくり・人づくり」の一つと考えている。そのための方策として、積極

的に企業誘致を検討したい。

航空宇宙産業を例示したのは、愛知県が名古屋空港の隣接地に、航空宇宙産業の研究開発拠点の誘致を進めていることに起因する。大口町は世界に名だたるメーカーが軒を連ねる地域。ここに航空宇宙産業が加わることで、さらなる発展につながると考えた。

建設部長

② 候補地を選定して、次期マスタープランに盛り込んでいきたい。

町長

③ 町の将来を見据えたとき、農地だけ、あるいは企業誘致だけではなく、調和のとれたまちづくりをしていかねばならないと考えている。

土田

今まで行われてきた全町農業公園構想を、どう評価しているか。今後も推進していくのか。

町長

個々の事業については、順調に成果を上げているものもあり、一定の評価がいただけると思っている。

農業を軸とした循環型社会への対応を「全町農業公園構想」という発想で施策を進めてきた。7月には職員によるプロジェクトを立ち上げ、これまでの施策を検証し、構想を目に見える形で表現できるよう取り組んでいる。



黒米のオーナーとなって田植えをする皆さん。
右後方の建物は農地転用して建設された倉庫群

計画通り実施できるか

町長 すべて実行できるか分からない

町長マニフェスト

田中

町長の所信表明
演説、およびマ

ニフェストを基に、町長
自身の考えを聞く。

① 具体策と目標年次を
掲げたマニフェスト。現
時点で実施が無理だと思
うのはどれか。

② 非正規雇用の問題を
解決しないと、日本経済
は立ち直りできない。

町長はどう思うか。

③ 前町長が始めた近隣
1市2町の道州制の勉強

会はどうなる。

④ 今後の町の課題は、
農業をどうしていくかだ。
そのビジョンを聞く。

町長

① 今まで知ら
なかった問題も
あるので、すべて実行で
きるかどうかは分からな
い。しかし、約束したこ
とについては、毎年公表
し、住民に評価をしてい
ただく形にしたい。

② 雇用する期間・目的
によって、雇用の形態が

いくつかあっていいと思
う。ただ、処遇について
は検討する余地があると
考えている。

③ 道州制を見据えた自
治体のありようを検討す
る目的で、勉強会を立ち
上げた。現在は、各市町
の補佐クラスが月に1回
程度、持ち回りで会合を
もっている。

④ 年間を通じた作業の
確保、減収の場合の所得
補償、後継者問題など、
問題は山積している。

具体的な支援策はない
が、豊かな農地の保全と
企業誘致で、調和のとれ
た町を目指したい。



田中一成

町保育園の運営

公営以外の検討も続けるのか

部長 利用者が選べる保育体制が必要

田中

保育園の運営方
法については、

公設公営に限定せず、あ
らゆる方向を検討してい
くとのことだった。その
方向に変わりはないか。

健康福祉部長

近年に
おける

保育ニーズは、家族形態
や就労状況の多様化に伴
い、さまざまな要望が高
まっている。

これらの保育ニーズに
対応していくには、利用
者がサービスのメニュー

を選択できる保育体制が
必要。

公設公営以外にも、住
民のニーズに応える多様
な運営方法の検討も続け
ていきたい。



昔遊「スズメバチに気をつけろ」=10月3日、中保育園運動会

工場の家賃に補助を

副町長 現行の融資制度で対応できる



吉田 正

吉田

① 町みずから
自営業者の経営
相談や融資相談などを行
い、要望などを聞くべき
ではないか。

② 借りている工場の家
賃が払えず、立ち退きを
迫られている人がいる。
生活基盤を守るため、家
賃の補助をすべきではな
いか。

③ 国保税の減免制度は、
所得が400万円以下で、
前年より3分の1以上の
減少がないと適用されな
い。低所得に着目した減
免制度は、県内で19自治
体もある。大口町も生活
保護基準を減免制度に取
り入れよ。

副町長

① 経営相談
は商工会の経
営指導員を活用すること
が効果的と考える。

融資相談は町も行って
いるので、商工会とも連
携しながら、引き続き実
施していく。

こうした相談を通じて、
現状を把握していきたい。
② 賃料などの固定経費
は、運転資金として融資
の対象になるので、現行
の融資制度に含まれてい
る。

健康福祉部長

③ 国
保等による失業者に対し
て、所得の軽減措置を検
討している。こうした国
の動向を見極めながら、
国保の減免制度について
も研究していきたい。

障がい者の自立にハートホームの活用を

部長 検討していきたい



余野二丁目にあるハートホーム

レスパイト

介護を要する障がい児(者)を一時的
に預かって、家族の負担を軽くする
援助サービスをいう。

レスパイトは、息抜きという意味。

健康福祉部長

① 大
口町は、
ハートホームの利用料を
一部軽減している。
利用状況を聞く限り、
現在の職員で対応が可能
と思う。

② ハートホームは自立
に向けた生活を支援して
いくサービス。ケアホー
ムの訓練的な意味合いと
して利用していくことは
可能と考えている。
場所的な問題を含め、
どういった形態がいいか
を、一緒に検討してい
きたい。

吉田

レスパイト事業
として、町の補
助を受けてハートホーム
がつくられている。しか
し、専属の職員はいない。

① 職員の配置ができる
ように、町は運営費の補助
をすべきではないか。

② ハートホームでは障
がいのある人の自立する
ための訓練を行いつつ、
将来のケアホームの建設
につなげるべきではない
か。

見直す時期ではないのか

副町長 資源化の主要施策として続ける

宮田

資源ごみのスタンプ制を始めた当初の目的は、すでに達成されたと思う。町の税収も大変厳しい。72個のスタンプで3000円を支払う制度は、見直す時期に来ているのではない。

また、実際に報奨金を支払った件数は、地区によって特徴はあるか。

副町長

スタンプカード制は、報奨を出すことによって、分別を誘導しているという考え方である。

このスタンプ制度を、ごみの資源化推進の主要な施策の一つと位置付け、

一層のごみ減量を図っていききたい。

スタンプを72個満了した人の地区別割合は、大屋敷と外坪が他の地区に比べて極めて高いといえる。



宮田和美

スタンプカード制

家庭から排出される資源ごみの分別を徹底するために始まった制度。資源ごみを地区の集積所へ出されると2個、リサイクルセンターでは1個のスタンプが押される。スタンプの数によって景品がもらえる。

河北生ごみ堆肥事業

今後どうしていくつもりか

副町長 農業公園構想の姿、支援を継続

宮田

現在河北区では、区民が一体となって生ごみ収集に取り組んでいる。

- ① 今後、河北区の生ごみ収集をどういう形で続けていくつもりか。
- ② 生ごみ収集の取り組みを、全町に広げていくことはできないか。



生ごみを投入してから、1週間程度で一次発酵堆肥となる

副町長

① 河北区での取り組みは、単なるごみ減量・資源化という枠を超え、地域におけるまちづくりの道具として実施されている。

具体的には、生ごみ堆肥を使ってできた野菜で、漬物作りが行われるようになった。その漬物を販売した収入で地区の方に豚汁を振る舞っている。こうした活動で地区内の皆さんの交流が深まっている。

このような広がりを、全町農業公園構想の目指すべき姿の一つと考えているので、今後も町として支援していきたい。

② 河北区が取り組んでいた生ごみ堆肥化の活動を十分に検討していただき、全町に広げていく手法について、意見交換の中から、方向性を定めていければと考えている。

町で導入する考えは

部長 現行の緊急通報システムを活用



柘植 満

救急医療情報キット

円筒状のプラスチック容器の中に、かかりつけ医、持病、服薬内容、緊急連絡先等を書き込んだカードや健康保険証の写し、本人の写真などを入れて、あらかじめ冷蔵庫に保管しておく。急病などの緊急時に、救急隊員がこの情報を活用し、迅速で適切な処置に結びつける取り組み。

柘植 救命措置に必要な情報を専用ケースに収めておく「救急医療情報キット」という取り組みがある。これは東京都港区が全国に先駆けてスタートさせた事業で、緊急時に有効な取り組みである。大口町でも実施する考えはないか。



健康福祉部長

大口町では、

65歳以上の単身高齢者、75歳以上の人だけで暮らしている高齢者世帯などに、緊急通報装置を貸し出している。

利用者の緊急連絡先、

医療機関、主治医、既往症などの情報は、丹羽消防署へ提供してある。また、これらの情報は、毎年装置の点検の際に更新も行っている。

万一の緊急時に、ボタン一つで丹羽消防署と連絡が取れる現在の「緊急通報システム」の普及に努めていきたい。

3人乗り自転車に補助を 部長 必要性を見極めたい

柘植

警察庁は、「交通の方法に関する教則」を改正して、保護者が乳幼児2人を乗せる自転車、3人乗りを禁止しようとした。しかし、子育て中のお母さんたちから猛反対を受けて、一定の安全基準を満たす自転車に限って、3人乗りを認めるようにした。

3人乗りの自転車は安全性や強度の關係で、10万円前後と高額である。国の「安心こども基金」を活用し、レンタル制度や購入の補助を行ってはどうか。

健康福祉部長

購入に助成やレンタル制度については、どれくらいの需要があるのか、いましばらく必要性を見極めたい。

柘植

江南市と犬山市では20台、北名古屋市では50台も購入し、レンタルすると聞いている。子育て支援として、もう一度検討したい。

健康福祉部長

その自転車での歩行者と事故を起こした場合の賠償の問題、ある

その他の質問

肺炎球菌ワクチンの接種は1回8000円と高額。公費助成としては、

肺炎は風邪やインフルエンザなどが原因で発症する。手洗いとうがい、早目の受診、インフルエンザ予防接種の勧奨に努めたい。

追跡

1年前の一般質問

あれから どうなった？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載しています。そして、その後どのように町政に反映されたかも追跡調査しています。今回は、平成20年12月定例会からピックアップしました。

ごみ減量20%には程遠い

リサイクルセンターや有機資源(剪定枝)集積場の開設、スタンプ制の実施など、ごみ減量の努力は認める。しかし20%には程遠い。この結果をどう受け止めるか。(土田 進)

環境建設部長答弁

改善して取り組む

ごみの減量は、日々の積み重ねがあって達成できるもの。
現状を評価し、改善して取り組んでいきたい。

どうなった

リサイクルの浸透で可燃ごみを減量

平成21年10月末現在、前年同月比マイナス2.5%の可燃ごみ減量を達成した。
リサイクルセンターの利用者も倍増しており、「ごみから資源へ」のリサイクルが確実に高まっている。この流れの浸透が可燃ごみの減量につながっていく。

地上デジタルチューナーに助成を

経済弱者への支援策として、チューナーの購入に助成する考えはないか。(柘植 満)

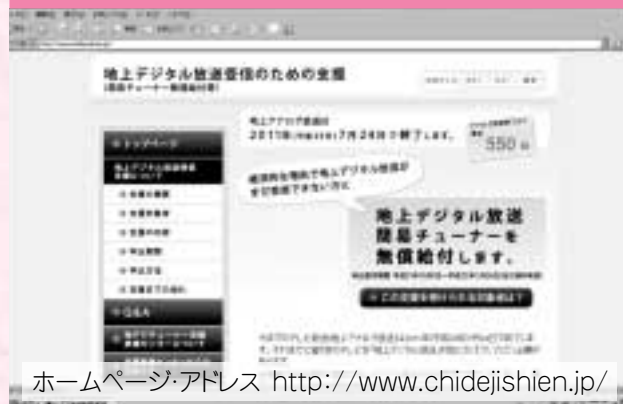
総務部長答弁

町独自の支援は情勢を見極めて

国では、生活保護などの公的扶助を受けている世帯等に、地上デジタルチューナーの無償配布を検討している。
町独自の支援策は、国の動向と市場価格の情勢を見極めて判断したい。

どうなった

生活保護世帯などに無償配布



生活保護などの扶助を受けてNHKの受信料が全額免除されている世帯には、簡易チューナーの無償配布が行われる。
国で一定の支援策がとられることになったので、町独自の助成は考えていない。

質問者の満足度



いまひとつ

東京都千代田区では、65歳以上の世帯や障がい者等の世帯を対象に、アンテナ設置工事に対して助成がある。
国の対策だけにとどまるのではなく、他の自治体のような独自の施策展開を望みたい。

学校給食 ごちそうさまでした！ 全員が**大満足**のひと時



この日のメニューは、黒米入りご飯、牛乳、けんちん汁、さばの銀紙焼き、白菜のごま和え、ヨーグルトとボリューム満点。
671キロカロリー、1食230円。

12月9日、南小学校で学校給食の試食会が行われ、町関係者と文教福祉委員が3年生と6年生の4クラスに分かれて、給食を試食しました。



この日のメニューでコマだけが外国産（ミャンマー）、他はすべて国内産とのこと。その中でも黒米・白米・水菜は大口町で採れたものです。

私が訪問した3年2組は、素直で、無邪気で、元気がいっぱい。あちこちで笑顔があふれていました。話をしながら、そして笑いながらの給食は、笑顔という名のスパイスも相まって、本当においしく、幸せなひと時を過ごすことができました。

（岡 孝夫）

建設現場を再視察 順調な進み具合にひと安心

北小学校建設特別委員会は12月16日、新生大口北小学校の進行状況を調査するため、建設現場を視察しました。

増築した校舎では、コンクリート打設が完了し、鋼製建具の取り付けが行われていました。一方、既設校舎の方は、天井や壁の仕上げが進んでいました。視察日までの校舎の出来高は35%程度という説明でしたが、躯体が完了しているためか、もう少し進んでいるように感じました。

完成まで残り少ない日数になりましたが、工事の安全と確実な施工をお願いし、現場視察を終えました。

（委員長 鈴木喜博）



- ① 児童クラブ（校舎西端）の前で説明を受ける委員
- ② 増築校舎1階の内部
- ③ 校舎を覆うシートの切れ目が既設と増築の境界あたり

北小学校
建設特別
12月16日



議会だより アンケート結果

11月7日（土）のふれあいまつりで、議会だよりについてアンケートを行いました。

203名の方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。集計ができましたので報告します。

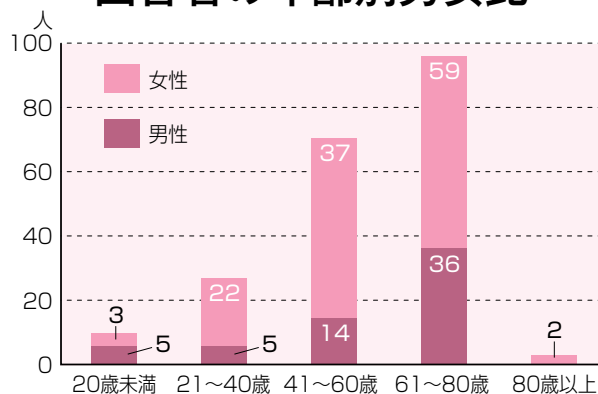
今回のアンケートでは、61歳～80歳の方が全体の半数近くを占めており、その中でも女性が最も多くご協力いただきました。

「読む時間」の設問では15分ぐらいの方が54%を占めました。30分以上かけてじっくり読んでおられる方も30%お見えになり、作り手として非常にうれしい限りです。

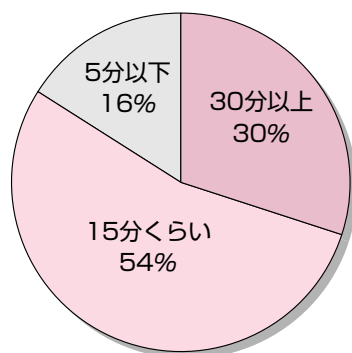
好きなページでは一般質問が他を抜きんでいます。前回のアンケート（平成18年8月実施）でも同様の結果が出ています。

「議会だよりに望むことは」の設問では、発行の早さより、内容の充実が望まれています。内容を詳しくすると難解になり、簡潔にすると内容が乏しくなりがちですが、両方を満足させる「詳しくて、しかも分かりやすい議会だより」を目指していきたいと思います。

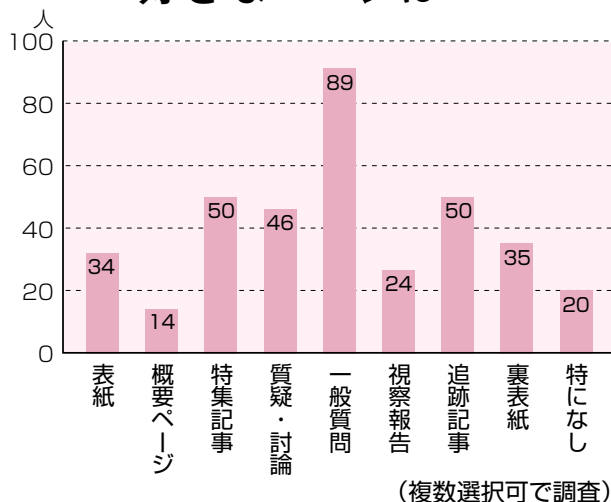
回答者の年齢別男女比



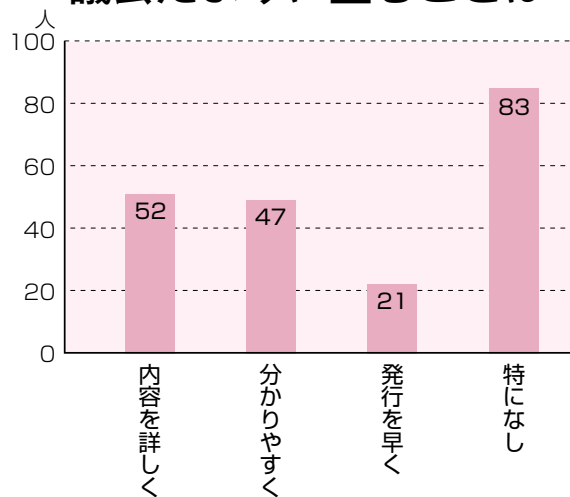
読む時間はどれくらい



好きなページは



議会だよりに望むことは



まちの 元気者



地域の子は地域で守る

小学生の登下校に付き添い、毎朝学校まで子どもたちを安全に送り届ける「校区あんしんパトロール団」。皆さんの地道な活動に支えられ、地域の安全・安心が守られています。

今回は南小学校区でパトロール活動をしてられる、秋田区の皆さんを紹介します。

都市化が進む昨今、朝夕の交通ラッシュは一段と激しさを増しています。通学時の子どもたちの危険度も一段と厳しさを増す中、「かわいい子どもたちを見守る」という想いから、自然発生的に活動が始まりました。

「現在は8名で秋田区の子どもたちの登下校を見守っていますが、最近は若いお父さんやお母さん方もよく出てきてくださって、本当にありがたい」とおっしゃられていました。



取材にご協力いただいた秋田区の皆さん

取材を終えて

「地域の子は地域で守る」「地域の子は全員で守る」。よく聞く言葉ですが、いざ自分が実行するとなると、なかなかできないものです。それを、雨の日も風の日も、毎日毎日、自分の子や孫でもないのに…。本当に頭が下がります。

せめて「ながら見守り」でも協力したい。実感です。
(倉知敏美)

会議録をご覧ください

町議会の会議録をインターネットで公開しています。町のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

大口町議会

検索

皆さん議会傍聴に 来てください

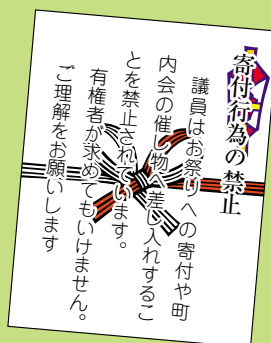
次回定例会

3月3日(水)から

予定

手続き簡単

役場3階で住所と名前を書くだけ



編集後記

2009年を漢字で表す文字に、「新」という字が選ばれた。国政も新政権となり、わが大口町にも「新町長」さらには「新副町長」も誕生した。新政権では、マニフェストの公約違反で支持率が大きく下がっている。大口町民も町長のマニフェストに大きな関心を持っている。議会としても前向きに協力し、町民の皆様のために町政のかじ取りを大いに期待したい。
(宮田和美)

発行責任者

議長 齊木 一三

議会広報常任委員会

委員長 岡 孝夫

副委員長 宮田 和美

委員 吉田 正

委員 丹羽 勉

委員 土田 進

委員 倉知 敏美